

09 度会カフェリョクプロジェクト

「度会茶で町を元気に!」

私たちは、度会茶の魅力を発信するために水出し茶のできるボトル開発をしています。ボトル開発は、今年度から始まった活動でまだ商品化はできていませんが、度会町役場の方と協力して進めています。この活動は地元の方との話し合いもあるので、コミュニケーション能力を身に着けることができます。

メンバー数 : 7名
活動場所 : 度会町
実施主体 : 度会町役場
担当教員 : 藤井 恭子 (現代日本社会学部)
活動年度 : H28, H29, H30, R01, R02, R03, R04, R05



1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

今年度は、これまでの「宇治山田の和紅茶」の販売活動に加えて、今年度は水出しのできるボトル開発プロジェクト「お茶BOTTLEプロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは、より多くの方々に出来立ての度会茶を楽しんでいただくことを目的としており、お茶を手軽に楽しむことができる便利なアイテムという点から「水出しボトル」に着目することになりました。今年度は、ターゲット層やボトルの構造・デザイン、使用するお茶の種類、販売場などについて重要な話し合いを行ってきました。特にボトルの構造やデザインに関しては、なかなか意見がまとまらずに困難な時期もありましたが、継続的な会議を通じてお互いに納得のいく構造やデザインが確定しました。

さらに、1月には度会町役場の方々の温かいサポートもあり、喜多製茶様と会談を持つことができました。この機会では、活動の趣旨や進行状況、今後の計画について報告しました。また、喜多製茶様から貴重なお話を伺い、茶畑や工場の見学をさせていただき、茶葉の種類や発酵過程についても学ぶことができました。

今後は、これまでの会議を基に、実際の商品化を目指して水出しのできるボトルを開発していきたいと考えています。具体的には、喜多製茶様との会談で出た課題に対する会議や、材料の検討、許可取りなどの段階を踏んで、水出しのできるボトルを実現させたいと思っています。そして、商品化が実現したら、学内や地域のイベントなどで販売していく予定です。そのような展開を通じて、地域の方々に美味しいお茶を提供することが目標です。

月別活動

- 4月 1年間の計画立て
- 5月 ボトルデザイン発表、提案
- 7月 西南学院大学さんと交流会
- 8月 お茶試飲会
- 12月 会議(ボトル探し等)
- 1月 喜多製茶様訪問



活動を通して学んだこと

今年度は、度会町や度会茶の魅力を発信するために水出しのできるボトル開発の活動を始め、主に度会町役場の方とともに会議をしてきました。今までしてきた会議から、度会町に関する知識やお茶に関する知識、商品開発の流れなどについて学びました。また、会議の中で話が進まないこともありましたが、協力してある程度内容が固まることができました。そこから、お互いにコミュニケーションをとったり、協力したりすることの大切さを改めて学びました。

実施主体からのコメント

度会町みらい安心課
ご担当者様

当町の特産である伊勢茶に注目いただき、若者目線でこれまでにない様々なアイデアを出し合い、議論し、試行錯誤しながら進めてもらいました。1月31日には茶農家を訪問し、実際の現場に触れ、生産者の話を聞かせてもらい、非常によい経験であったと思います。

今後もチームで議論を重ね、必要に応じて周囲の助言を受けることによって、プロジェクトは、より良いものになっていくと思いますので、引き続き取り組んでください。



担当教員より

現代日本社会学部 藤井 恭子

より多くの方々に度会茶や伊勢茶の魅力を知っていただくきっかけづくりとして、今年度はお茶ボトル開発の活動が開始しました。商品化にむけて紆余曲折がありつつ、メンバー同士で協力しながら商品を考案しました。次年度も実施主体様やメンバーと連携を取りつつ、ボトルの商品化という新たなステップに進んでください。今後に期待しています。

📢 こんな人におすすめ!

- ・コミュニケーション能力を身に着けたい人
- ・地域に貢献したい人
- ・お茶が好きな人



成果物 / 制作物